

# 東映株式会社 2024年3月期 第3四半期説明資料

(2023/4~2023/12)

公式LINE【東映IR News】▶



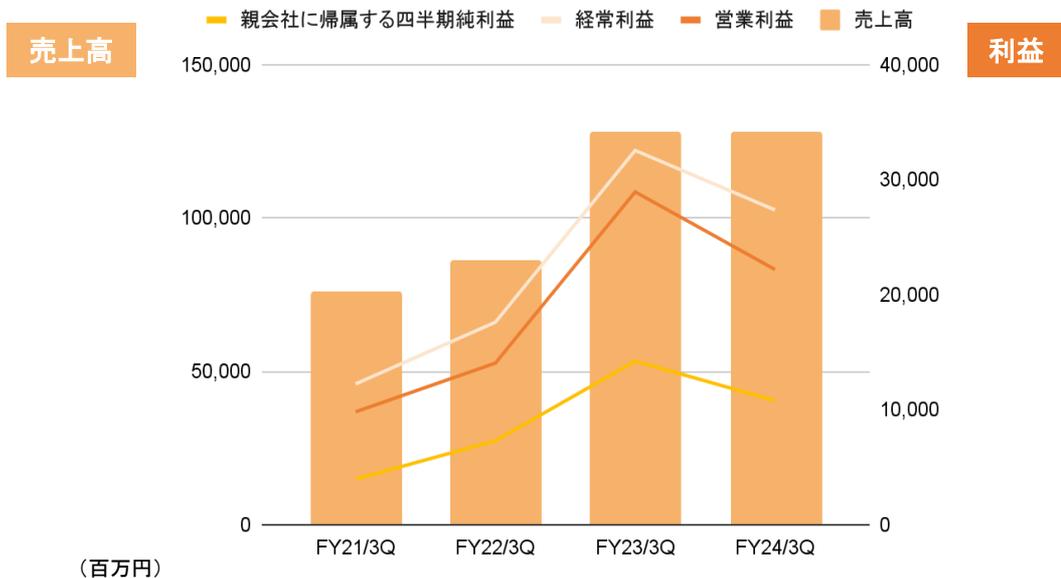
公式X【東映公式ニュース】▶



# 2024年3月期第3四半期決算（連結）

（百万円）	FY21/3Q	FY22/3Q	FY23/3Q	FY24/3Q	前期比較	
売上高	76,177	86,492	128,160	128,386	226	0.2%
売上原価	46,734	50,735	74,598	78,528	3,930	5.3%
販管費	19,632	21,712	24,623	27,668	3,045	12.4%
営業利益	9,809	14,044	28,939	22,189	▲6,750	▲23.3%
経常利益	12,232	17,601	32,546	27,367	▲5,179	▲15.9%
親会社に帰属する 四半期純利益	3,951	7,288	14,220	10,782	▲3,438	▲24.2%

※FY=会計年度：FY24/3Qは2023年4月～2023年12月の期間

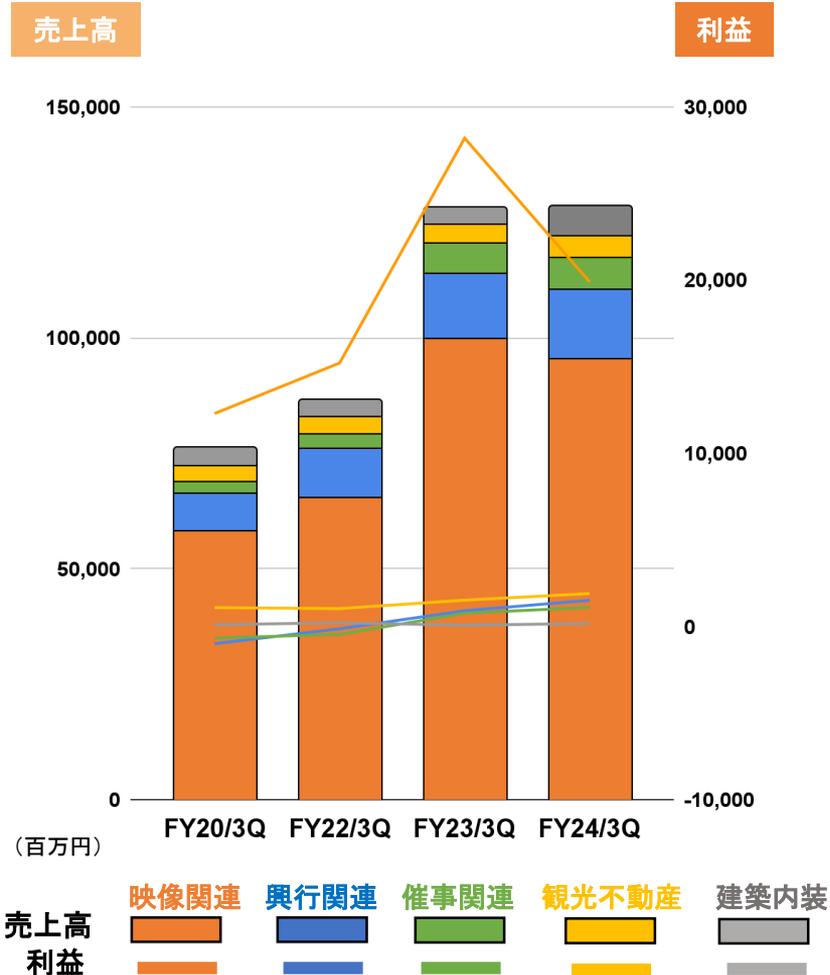


当第3四半期連結累計期間の売上高は 1,283億 8 千 6 百万円（前年同四半期比 0.2%増）、経常利益は273億 6 千 7 百万円（前年同四半期比 15.9%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は 107億8千2百万円（前年同四半期比 24.2%減）となりました。

売上高は第3四半期として 2004年度以降過去最高となり、また営業利益、経常利益、当期純利益は過去最高である前年同期に次ぐ成績となりました。

要因としては、前期に引き続き『THE FIRST SLAM DUNK』（2022年12月3日公開）が好稼働したほか、『劇場版アイドルリッシュセブン LIVE 4bit BEYOND THE PERIOD』『翔んで埼玉～琵琶湖より愛をこめて～』『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』『映画プリキュアオールスターズ F』が劇場で大ヒットし、さらに順調なマルチユース展開（商品販売、版權販売、放送・配信権許諾販売、海外販売等）が行えたことが挙げられます。

# 2024年3月期第3四半期 セグメント別分析 (連結) 【全体】



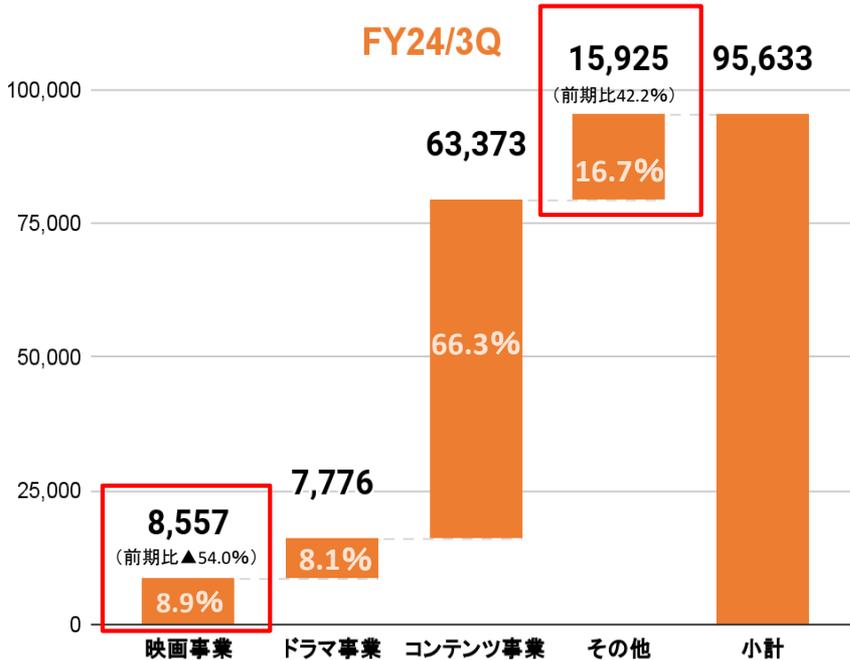
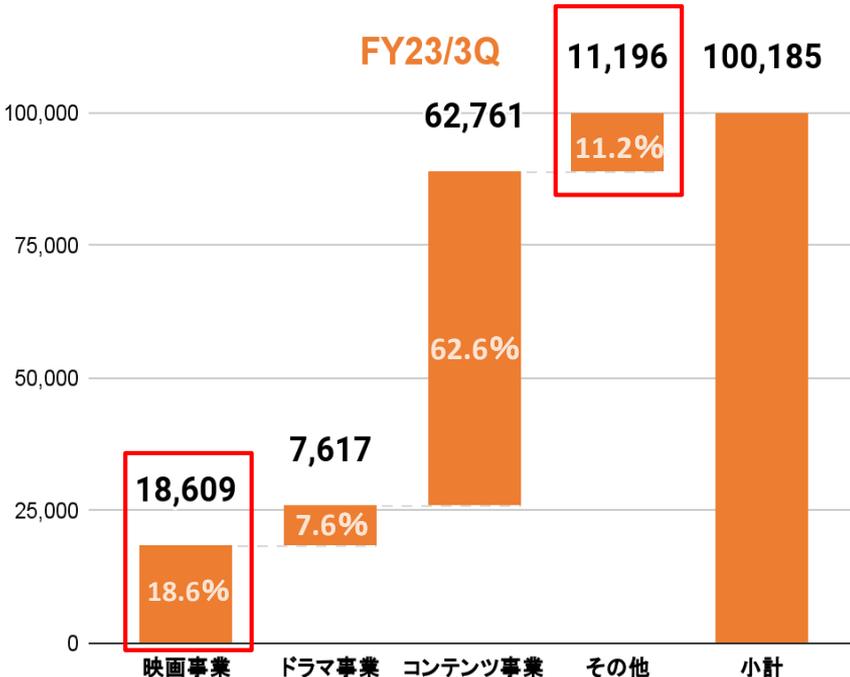
セグメント	サブセグメント	FY23/3Q	FY24/3Q	増減	比較増減	物割/セグメント割合
映像関連事業	映画	18,609	8,557	▲ 10,052	▲54.0%	8.9%
	ドラマ	7,617	7,776	159	2.1%	8.1%
	コンテンツ	62,761	63,373	612	0.9%	66.3%
	その他	11,196	15,925	4,729	42.2%	16.7%
	売上高合計	100,185	95,633	▲ 4,552	▲4.5%	100.0%
	利益合計	28,199	19,895	▲ 8,304	▲29.4%	
興行関連事業	売上高合計	14,053	15,192	1,139	8.1%	100.0%
	利益合計	915	1,519	604	66.0%	
催事関連事業	催事	4,955	5,380	425	8.6%	79.5%
	映画村	1,381	1,387	6	0.4%	20.5%
	売上高合計	6,337	6,767	431	6.8%	100.0%
	利益合計	769	1,110	341	44.4%	
観光不動産関連事業	不動産賃貸	3,164	3,268	104	3.3%	69.2%
	ホテル	1,089	1,453	364	33.5%	30.8%
	売上高合計	4,253	4,722	469	11.0%	100.0%
	利益合計	1,526	1,906	380	24.9%	
建築内装関連事業	売上高合計	3,330	6,069	2,739	82.2%	100.0%
	利益合計	77	180	103	131.9%	
<b>売上高合計</b>		128,160	128,386	226	0.2%	
<b>利益調整額</b>		▲ 2,548	▲ 2,422	126		
<b>利益合計</b>		28,939	22,189	▲ 6,750	▲23.3%	

(百万円)		FY23/3Q	FY24/3Q	増減比率	
映像関連事業	売上高	100,185	95,633	▲4,552	▲4.5%
	利益	28,199	19,895	▲8,304	▲29.4%

・映像関連事業は、その他事業において『ワンピース』『プリキュア』シリーズ等のアニメーション作品の商品販売収入およびイベント収入が好調に推移し売上高159億2千5百万円（前年同期比42.2%増）となり、コンテンツ事業、ドラマ事業も順調に推移しましたが、映画事業が大ヒット作が複数公開された前期の反動減となり売上高85億5千7百万円（前年同期比54.0%減）となったため、売上高は956億3千3百万円（前年同期比4.5%減）と減収になりました。

・第1四半期に公開した『聖闘士星矢 The Beginning』の棚卸資産評価損を計上したこと等により、利益は198億9千5百万円（前年同期比29.4%減）と減益になりました。

【サブセグメント別売上高】



## サブセグメント

【映画】 売上高8,557百万円（前年同期より54.0%減）

映画事業では、当第3四半期累計において 提携製作作品等 36本を配給し、このうち『劇場版アイドルリッシュセブン LIVE 4bit BEYOND THEPERIOD』『翔んで埼玉～琵琶湖より愛をこめて～』『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』が大ヒットし、『映画プリキュアオールスターズF』がシリーズ歴代第1位の興行収入を記録しました。

また、前連結会計年度における公開作品のうち、『THE FIRST SLAM DUNK』（2022年12月3日公開）が引き続き好稼働しました。

## 2023年10月～12月劇場公開作品

10月13日 『キリエのうた』

11月10日 『法廷遊戯』

11月17日 『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』 25.3億円※続映中

11月23日 『翔んで埼玉～琵琶湖より愛をこめて』 23.4億円※続映中

12月22日 『仮面ライダーTHE WINTER MOVIE ガッチャード&ギーツ 最強ケミー★ガッチャ大戦争』

※2024年2月4日時点



## IPの『エバーグリーン』

## 『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』 25.3億円のヒット！ 劇場商品も好調

子供向け作品として1968年にテレビシリーズがスタートした『ゲゲゲの鬼太郎』は、これまでテレビシリーズ7作品547話、劇場映画13作品（短編含む）が製作されてきました。そして今回、初めて大人をターゲットにした劇場映画『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』が公開され、大きな話題を呼んでいます。劇場商品の売上も好調に推移し、当期の業績に貢献いたしました。今作のヒットは、子供の頃『ゲゲゲの鬼太郎』に親しんだ大人をターゲットに、これまでとは違う大人向けのアプローチをすることで大人層が再び劇場に足を運んでくださり、IPの「エバーグリーン」が進んだ結果と分析しています。

同じく20周年を迎えた『映画プリキュアオールスターズF』も、子供に加えて大人層を取り込み興行収入15.3億円のヒットとなりました。

このようなIPの「エバーグリーン」化は、コンテンツを作り続け、国民的IPと言えるコンテンツを多数持つ当グループの強みです。

2023年公開  
鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎

劇場商品もヒット



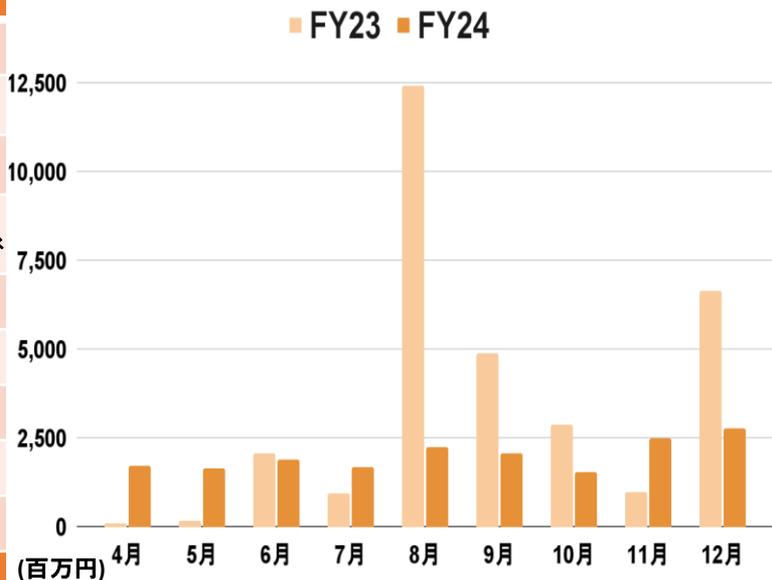
主な稼働作品名	公開日	興収(億円)	主な稼働作品名	公開日	興収(億円)
『THE FIRST SLAM DUNK』	2022年 12月3日	158.7 ※再上映含む	『法廷遊戯』	11月10日	5.3
『劇場版アイドリッシュセブン LIVE 4bit BEYOND THE PERIOD』	5月20日	29.3 ※続映中	『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』	11月17日	25.3 ※続映中
『映画 プリキュアオールスターズF』	9月15日	15.3	『翔んで埼玉～琵琶湖より愛をこめて～』	11月23日	23.4 ※続映中
			『仮面ライダー THE WINTER MOVIE ガッチャード&ギーツ 最強ケミー★ガッチャ大作戦』	12月22日	4.2 ※続映中

※2024年2月4日時点

## 月間興行収入 前年度比較 (表)

## 月間興行収入 前年度比較 (グラフ)

(億円)	FY23	FY24	前年度比	2023年度主な稼働作品
4月	0.8	17.1	2030.5%	『THE FIRST SLAM DUNK』 『シン・仮面ライダー』 『聖闘士星矢 The Beginning』
5月	1.6	16.5	979.6%	『THE FIRST SLAM DUNK』 『劇場版アイドリッシュセブン LIVE 4bit BEYOND THE PERIOD』 『シン・仮面ライダー』 『おとなじみ』
6月	20.6	18.8	91.1%	『劇場版アイドリッシュセブン LIVE 5bit BEYOND THE PERIOD』 『THE FIRST SLAM DUNK』 『劇場版『美少女戦士セーラームーンCosmos』 前編・後編』
7月	9.5	16.8	176.6%	『劇場版アイドリッシュセブン LIVE 6bit BEYOND THE PERIOD』 『THE FIRST SLAM DUNK』 『映画 仮面ライダーギーツ 4人のエースと黒狐/映画 王様戦隊キングオージャー アドベンチャー・ヘブン』
8月	124.3	22.5	18.2%	『THE FIRST SLAM DUNK』 『リポルバー・リリー』 『劇場版アイドリッシュセブン LIVE 6bit BEYOND THE PERIOD』 『Gメン』
9月	48.7	20.8	42.8%	『映画プリキュアオールスターズF』 『Gメン』 『兼じれた遊び』 『劇場版アイドリッシュセブン LIVE 7bit BEYOND THE PERIOD』
10月	28.8	15.5	54.0%	『映画プリキュアオールスターズF』 『BAD LANDS パッド・ランズ』 『ONE PIECE FILM RED』 『キリエのうた』
11月	9.8	25.0	255.0%	『翔んで埼玉～琵琶湖より愛をこめて～』 『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』 『法廷遊戯』 『ONE PIECE FILM RED』
12月	66.4	27.9	42.0%	『翔んで埼玉～琵琶湖より愛をこめて～』 『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』 『仮面ライダー THE WINTER MOVIE ガッチャード&ギーツ 最強ケミー★ガッチャ大作戦』
合計	310.5	180.9	58.2%	



## サブセグメント

【ドラマ】売上高7,776百万円（前年同期より2.1%増）

ドラマ事業では、作品内容の充実と受注本数の確保に努め、『相棒 season22』『仮面ライダーガッチャード』『王様戦隊キングオージャー』等を制作しました。キャラクターの商品化権営業は玩具等に関する消費者の嗜好が多様化するなか、堅調に推移いたしました。

## 2023年10月～12月放送作品

3月5日～	『王様戦隊キングオージャー』（テレビ朝日系）
8月16日～10月4日	『科捜研の女 season23』（テレビ朝日系）
9月3日～	『仮面ライダーガッチャード』（テレビ朝日系）
10月18日～	『相棒 season22』（テレビ朝日系）



## 脚本家育成

「芸術職研修契約者」採用を3年振りに実施し、前回に続き「脚本家」を募集しました。

## 【現在在籍中の芸術職研修契約者（2024年4月卒業予定）】

- 光益義幸：『相棒』『グッドモーニング、眠れる獅子』
  - 小西麻友：『刑事7人』『邪魚隊/ジャッコタイ』
  - 西 駿人：『特捜9』『舞台：風都探偵』
- TFTC『仮面ライダーリバイス』



〈過去の卒業生〉

岩下悠子氏（2007年3月卒業）下垂友美氏（2020年3月卒業）など

エントリー期間	2023年11月27日～2024年1月5日
エントリー人数	合計 1,664名（男性：915名/女性：749名）
募集人数	若干名 ※書類選考、実技試験等の上、2月末に最終面接

企画製作力を強化し、新たなコンテンツを生み出すため、“愛される「ものがたり」”を作る「脚本家」の育成に注力しています。

スーパー戦隊シリーズ、仮面ライダーシリーズへの  
子供のタッチポイントを強化

YouTube  
『せんたいライダーKidsチャンネル』

2月1日（木）～配信開始

幼児～小学生をメインターゲットとし、おさまに人気の歌・ダンスや、知育をテーマにした動画など、《おさまの楽しい！知りたい！という気持ちを大切に、遊びながら自然に学べる動画の配信》を行うコンセプトのチャンネルです。

オリジナルのかわいいミニキャラクターたちと、キッズダンサーも登場し、おさまの日常生活に寄り添います。また、日々忙しい保護者の皆様の助けになるような展開も目指し、スーパー戦隊シリーズ・仮面ライダーシリーズの新たな魅力を配信します。



YouTube  
『ブンブンジャーちゃんねる  
【スーパー戦隊シリーズ公式】』

2月1日（木）～配信開始

『爆上戦隊ブンブンジャー』の番組公式チャンネルです。【スーパー戦隊シリーズ】をより楽しんでいただけるように、番組の映像や玩具に関するコンテンツを数多く配信します。

3月3日の初回放送に先駆け「ブンブンジャー」のロボ、マシンを中心としたスペシャルをはじめ、クイズや図鑑、過去のテレビ作品など、40本以上の映像を配信中。おさまがワクワクする映像が満載のチャンネルを目指します。



お子様の視聴環境の変化を捉えた施策。

特撮作品の認知度向上を目指し、マーケットの拡大を狙います

新しいファンの開拓

16人の「仮面ライダー」と共に紡ぐ世界を完全オリジナルストーリーで描く  
新作スマートフォン向けアプリゲーム『ライドカメنز』  
2024年初夏リリース決定



本ゲームには、アニメーション監督・内海紘子氏によるデザイン原案をもとに、新進気鋭のイラストレーター1ZEN(いちぜん)氏により描き出された、個性豊かな全16人の「仮面ライダー」が登場。また、『仮面ライダーギーツ』など、近年の『仮面ライダー』シリーズを多数手掛ける脚本家・高橋悠也氏による完成オリジナルの新しい世界観を展開。そしてキャラクターボイスには人気声優を迎えました。

- 高塔戴天 CV：福山潤
- 荒鬼狂介 CV：田邊幸輔
- 魅上才悟 CV：安田陸矢
- Q CV：天崎滉平
- 颯 CV：KENN

ゲーム開発は(株)リベル・エンタテインメント、また企画・運営は(株)バンダイと協業しています。

従来のファン層以外の新規ファンの獲得を狙います

## サブセグメント

**【コンテンツ】 売上高63,373百万円（前年同期より0.9%増）**

劇場用映画、テレビ映画等の配信権販売に加え地上波・BS・CS放映権及びビデオ化権の販売を行うとともに、DVD・ブルーレイディスクを販売いたしました。アニメ関連では、『THE FIRST SLAM DUNK』の海外上映権販売や『ワンピース』の海外配信権販売に加え、国内外における『ワンピース』の商品化権販売等が好調に稼働しました。

**【配信】**

『レジェンド&バタフライ』『シン・仮面ライダー』『忌怪島』『Gメン』の配信権販売収入が好調でした。またオウンドメディアである「東映特撮ファンクラブ」ではオリジナル映像コンテンツに加え、電子書籍『ゴッカンのリタ 王様戦隊キングオージャー』や、オーディオコンテンツ『冥国の三姉妹プレゼント 仮面ライダーガッチャード 未完計画』などのオリジナル非映像コンテンツを充実させることで加入者数を増加させました。

**【放送】**

BS・CS放送局へのアーカイブ作品等（『暴れん坊将軍』等）の放送権販売が好調でした。

**【Blu-ray/DVD】**

『仮面ライダー』シリーズ、『スーパー戦隊』シリーズの劇場用映画、Vシネクスト、テレビ作品、配信用作品等が堅調でした。また『レジェンド&バタフライ』も好調でした。

**【国際】**

実写は、『レジェンド&バタフライ』『シン・仮面ライダー』の海外配信権販売が好調なほか、『スーパー戦隊』シリーズや『仮面ライダー』シリーズの商品化権及び配信権販売、『キリエのうた』アジア向け販売、また中国向け旧作劇場版映画販売が好調でした。

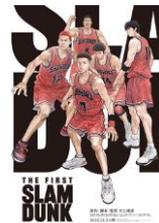
またアニメでは、『ワンピース』の海外配信権販売、また『THE FIRST SLAM DUNK』の海外上映権販売が好調でした。

**【アニメーション版権】**

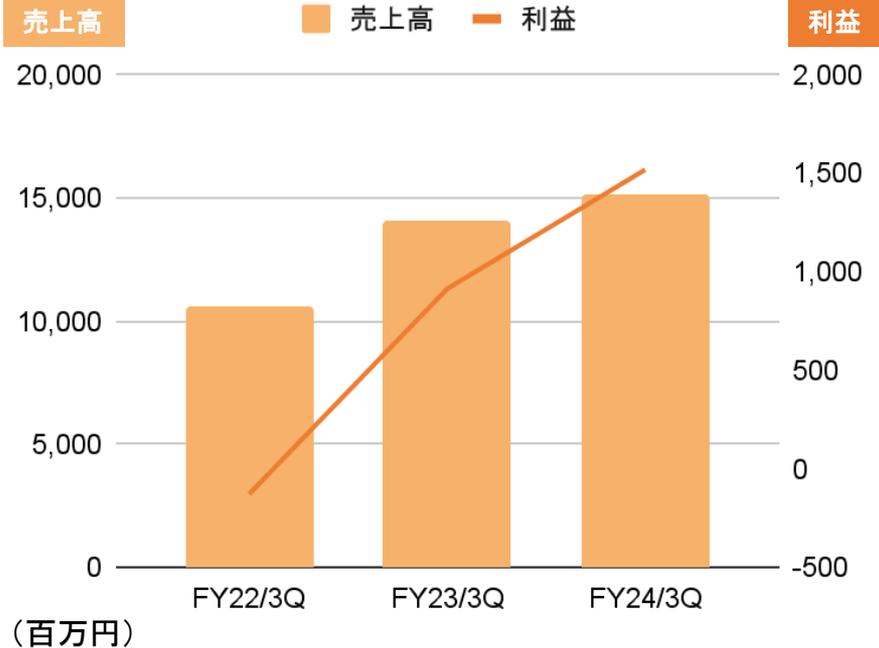
『ドラゴンボール』シリーズはゲーム化権が前年同期と比較して減収であった一方、国内外における『ワンピース』のゲーム化権などの商品化権販売等が好調でした。



『暴れん坊将軍II』



(百万円)		FY23/3Q	FY24/3Q	増減比率	
		<b>興行関連事業</b>	売上高	14,053	15,192
	利益	915	1,519	604	66.0%



映画興行業では、当第3四半期連結会計期間末現在において、220スクリーン体制（東映㈱直営館2スクリーン含む）で展開し、㈱ティ・ジョイ運営のシネコンが好調に稼働しました。

・コロナ禍からの本格的な業績の回復がみられ、第1四半期での『ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー』『名探偵コナン 黒鉄の魚影』の大ヒットが第3四半期までの業績を牽引しました。

・また入場者数の回復、増加に加え入場料金の値上げやドルビーシネマ等の高稼働による客単価の上昇が利益率の向上につながりました。

・アニメ作品への依存傾向が高く、実写作品や洋画作品の回復が待たれる状況が続いています。

#### 【所沢駅西口開発計画（仮称）への出店】

(株)ティ・ジョイは、(株)西武リアルティソリューションズと(株)松竹マルチプレックスシアターズとの共同運営により、「所沢駅西口開発計画（仮称）」の商業施設内へ「シネマコンプレックス」を出店することを決定いたしました。施設の開業は2024年秋頃を予定しています。

開業日 : 2024年秋頃

共同事業者 : (株)西武リアルティソリューションズ  
(株)松竹マルチプレックスシアターズ

所在 : 埼玉県所沢市東住吉10番

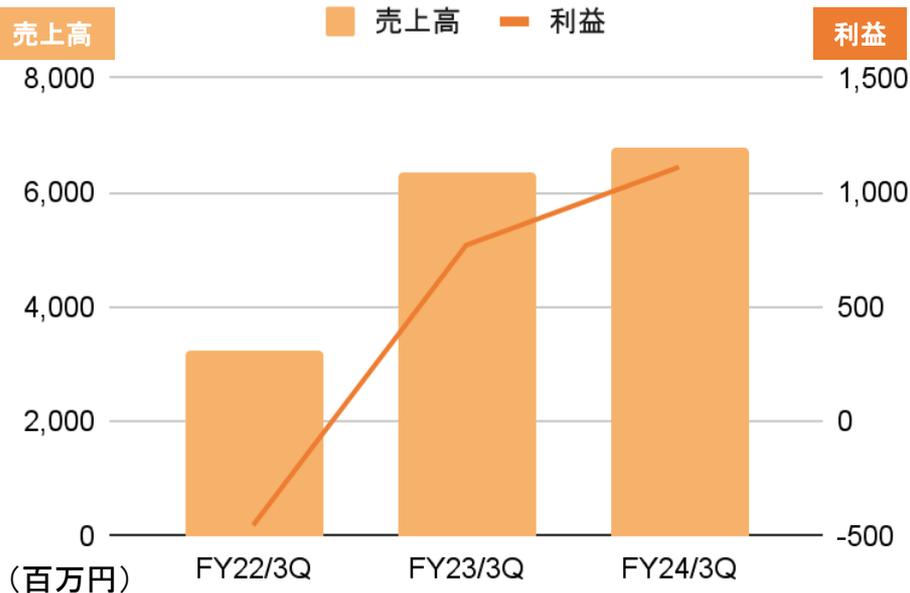
出店面積 : 約6,490㎡

スクリーン数 : 12スクリーン

座席数 : 1,800席規模

(百万円)		FY23/3Q	FY24/3Q	増減比率	
催事関連事業	売上高	6,337	6,767	431	6.8%
	利益	769	1,110	341	44.4%

『仮面ライダーギーツ ファイナルステージ』や『民藝 MINGEI — 美は暮らしのなかにある』等の各種イベントを行うとともに、映画・催事関連商品を通信販売することでオンラインストアが好調に稼働しました。また、東映太秦映画村は堅調に推移しました。



## サブセグメント【催事】

売上高5,380百万円 (前年同期より 8.6%増)

- ・『仮面ライダーギーツ ファイナルステージ』が過去最高の売上高と利益を記録しました。
- ・キャラクターショーの稼働本数が前期比 120%、コロナ前 67%に回復しました。
- ・映画『プリキュアオールスターズF』『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』、『ONEPIECE FILM RED 4Kアップコンバート版』(再上映)による劇場商品、また『王様戦隊キングオージャー』オリジナル商品等の通販事業が好調でした。

## 【STOREの拡大】

「仮面ライダーストア」を2020年より東京駅に出店し、また全国各地でポップアップストアを展開してきました。この度「仮面ライダーストアOSAKA」を2024年2月9日(金)より大丸梅田店でスタートさせることになりました。さらに海外展開も見越しており、『仮面ライダー』だけでなく、『スーパー戦隊』シリーズでもストア展開を計画しています。



## サブセグメント【東映太秦映画村】

売上高1,387百万円 (前年同期より 0.4%増)

# 東映太秦映画村全面リニューアル

## Concept：日本の「ものがたり」を世界へ

東映太秦映画村は1975年に、日本で初めて映画づくりを見学できるテーマパークとして、東映京都撮影所内に誕生し、開業から累計6500万人以上のお客様をお迎えしてきました。50周年を迎えるにあたり、社会状況や消費者ニーズの変化などに対応しながら当社ならではの美術セットや衣装、役者など時代劇の資産を活かし、よりワクワクするエンターテインメントを提供するため、全面リニューアルを実施します。京都の観光や日本文化発展の一翼を担い、ここ映画村から生まれる日本の新しい文化、新しい日本の「ものがたり」で、私たちは世界中を魅了していきます。

### ① 「観る」場所ではなく、日本の文化を誰でも気軽に「体験」できる場所へ。

京都の有名店や文化人にご参加頂き、旬の京都に出会って「体験」できる場所を目指します。

江戸時代の京都の中へ入り込み、自ら江戸時代を「体験」することを楽しんで頂きます。

### ② 朝・昼・夜の3つの顔。温浴から江戸酒場まで、お子様も大人も満足できる村へ。

ファミリーから大人、また海外からのゲストまでが満足できる施設を目指し、朝・昼・夜の顔をつくります。朝は温浴施設での朝風呂や新鮮な京野菜を提供するマルシェ、昼は映画村で江戸をテーマにした飲食や文化体験、また忍者アトラクションなど、夜はライトアップが施された「太秦江戸酒場」で京都の夜を満喫いただくことができます。

### ③ 伝統文化の実験場へ。

茶の湯、いけばな、工芸など、伝統文化や老舗が数多く存在する京都において、映画村を伝統文化の新たな「実験場」に。時代劇の役者もいる特別な空間の「映画村」で、誰もが伝統文化へのチャレンジや斬新なコラボレーションにトライできる場所を作ります。



### ■ ターゲット

- ・ファミリー層
- ・20代～30代 女性/カップル
- ・インバウンド

### ■ 成長に向けたトピックス

時代劇へ没入する空間をバーチャルではなくリアルに体験できる施設であることを目指します。そして、国内・インバウンドの両方で進行する「コト消費」への需要に応じていきます。また、リニューアル後の「太秦江戸酒場」は夜の通常営業とし、夜の営業により京都における「ナイトタイムエコノミー」の拡大に寄与します。

### ■ リニューアル概要

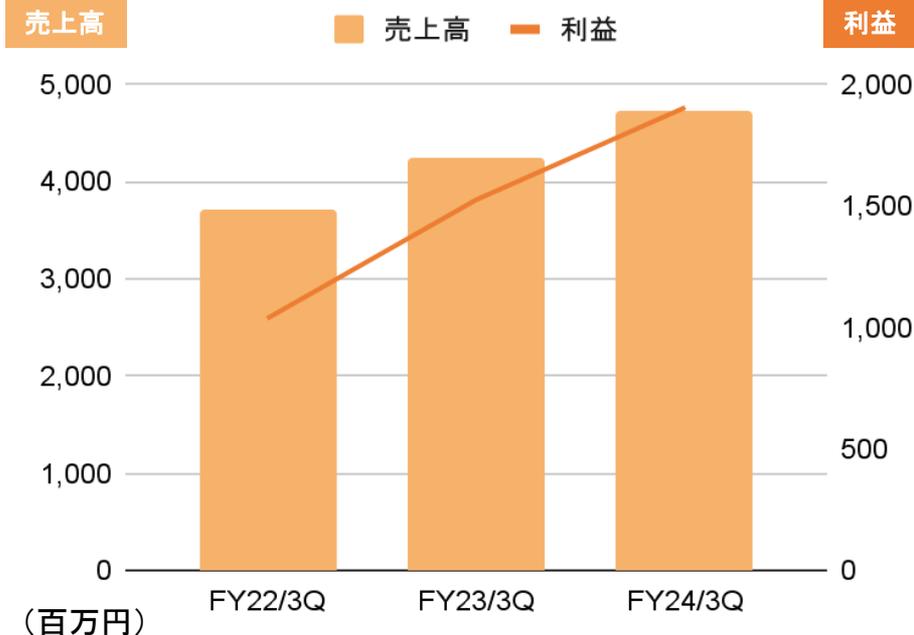
- ・施設名 東映太秦映画村
- ・総事業費 120 億円
- ・スケジュール

2024 年春 第1期 着工

2025 年 第1期エリア・リニューアルオープン

2028 年 全3期工事完了・フルリニューアルオープン

(百万円)		FY23/3Q	FY24/3Q	増減比率	
		売上高	4,253	4,722	469
観光不動産事業	利益	1,526	1,906	380	24.9%



## サブセグメント

【不動産賃貸】 売上高3,268百万円（前年同期より 3.3%増）

- ・「プラッツ大泉」「オズスタジオ シティ」「渋谷東映プラザ」「新宿三丁目イーストビル」「広島東映プラザ」等の賃貸施設が稼働しました。

## サブセグメント

【ホテル】 売上高1,454百万円（前年同期より 33.5%増）

- ・新潟東映ホテルはコロナ禍で敬遠されていた宴会がおよそ90%まで戻りました。
- ・湯沢東映ホテルはスキーシーズンのインバウンド客により好調でした。
- ・福岡東映ホテルは宴会に加えてインバウンド客が好調でした。

ツークン研究所の  
最先端テクノロジーの活用



湯沢高原スキー場・湯沢東映ホテルにて、東映ツークン研究所による、AIとXRテクノロジーが創り出すゲレンデプロジェクトンマッピング『湯沢ILLUMIMANIA（イルミマニア）』を、2024年3月1日（金）～3月3日（日）の3日間に渡り開催いたします。日本の景色をテーマに、夜の湯沢高原スキー場ファミリーコースのゲレンデを、光と音楽によるプロジェクトンマッピングで彩ります。鯉や池、松などの日本的なモチーフが、音に共鳴して変化していき、日本の冬を作り上げます。



※画像はイメージです。

また、美しい日本の冬をより没入体験できる体験型インスタレーションも湯沢東映ホテル内に展示いたします。プロジェクトンマッピングと連動しており、ゲレンデにスマートフォンをかざすことでタップした軌跡が模様として現れるスマホイルム、人物やその動きを読み取りそれに対応して模様が現れるボードイルム・カメライルムなど、インタラクティブな仕掛けをお楽しみいただけます。

■開催日時

2024年3月1日（金）～3月3日（日） 18時～21時

■開催場所

- ・湯沢高原スキー場ファミリーコース
- ・湯沢東映ホテル

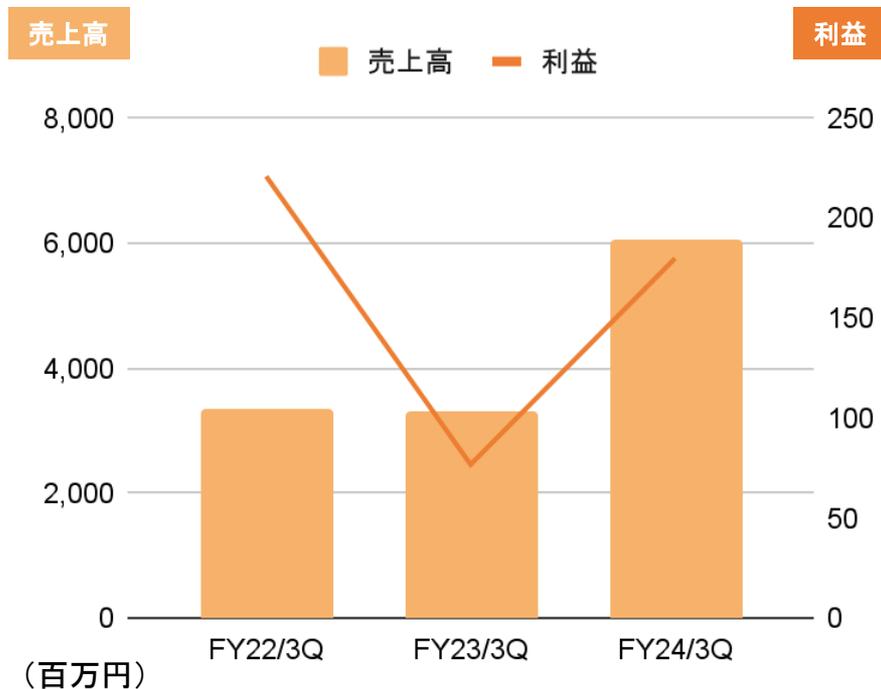
【ツークン研究所×観光エンターテインメント】

これまで東映ツークン研究所では、映像作品製作のためにモーションキャプチャー技術、バーチャルプロダクション技術、デジタルヒューマン、リアルタイムCG技術、そしてAI技術等を中心に、実用と研究開発に取り組んできました。この度、映像製作で培ってきたそれぞれの技術を応用し、新しいコンテンツ体験として湯沢ILLUMIMANIAを企画。湯沢東映ホテルとコラボレーションしました。

既成映像を投影するだけでなく、映像制作で使用されるCG合成技術・リアルタイムレンダリングを用いて、参加者の動きがリアルタイムでプロジェクトンマッピングに反映されるという双方向的なイベントを実現します。

東映グループだからこその映像エンターテインメントを湯沢東映ホテルから提供し、スキーだけではなく新しい観光スポットとして周辺観光地を盛り上げていきます。

(百万円)		FY23/3Q	FY24/3Q	増減比率	
建築内装事業	売上高	3,330	6,069	2,739	82.2%
	利益	77	180	103	131.9%



・建築内装事業では、株式会社東映建工が積極的な受注活動を行い、シネコンの新規工事や改装工事、マンション建築等の工事を受注し、売上高60億6千9百万円（前年同期比82.2%増）と増収になりました。

・幅広い資機材や人件費の高騰による原価率悪化の圧力がありますが、確実な見積と適正な工期の設定より利益を確保し、利益は1億8千万円（前年同期比131.9%増）と増益になりました。

# 參考資料

# 東映グループのビジネスモデル

## ① 自ら企画製作し、

多様で魅力的な作品群を企画

- ・ 劇場映画 4,400作品以上
- ・ テレビ映画 38,000話以上
- ・ 配信映画 600話以上

オリジナル



原作もの



映像製作インフラ

- ・ 撮影からポストプロダクションまでのワンストップ体制

撮影



ポストプロ



アニメ



大東スタジオ

## ② マルチユース展開

- ・ 劇場からテレビ、ネット配信までマルチチャネルをカバー

配給

DVD Blu-ray

興行

商品化

テレビ放送

書籍化

配信

ゲーム化

イベント化

舞台化

海外展開



ティ・ジョイ



東映  
オンラインストア



東映特撮  
YouTube Official

## ③ 作品をフランチャイズ化することで接点を増加

IPが生み出す収益の最大化を目指す

# 収益 最大化

IP認知度向上  
ファン化等

利益の積重ね

企画



製作



マルチ  
ユース



利益の積重ね

企画



製作



マルチ  
ユース



IP

接点  
増加

# 東映グループのビジネスモデル

## ビジネスモデルの強化施策



### 観光

デジタルアート

(p13参照)

モーションキャプチャー、バーチャルプロダクション、  
デジタルヒューマン、リアルタイムCG、AI

### 最先端技術開発

企画



製作



マルチ  
ユース



『ものたがり』を創る力を強化

### 『芸術職研修契約者』採用

(p6参照)

企画



製作



マルチ  
ユース



IP認知度向上  
ファン化等

### シネコンの新規開業

(p9参照)

接点増加

### IPの エバーグリーン

(p4参照)

商品との接点の拡大  
(p10参照)



### 新しいファンの獲得

YouTube

『せんたいライダーKidsチャンネル』

『ブンブンジャーちゃんねる【スーパー戦隊シリーズ公式】』

(p7参照)

スマートフォン向けアプリゲーム

『ライドカメンス』



IP

愛される作品を創り、様々な形で、多くの方へ喜びを。

# お知らせ

- 株式分割・定款の一部変更・株主優待制度の変更
- 『百円の恋』 (2014年公開) 中国でリメイク版が公開
- 国立映画アーカイブ『令和5年度アーカイブ中核拠点形成モデル事業』展示  
『御意見無用！東映東京撮影所物語』 関連展示：知られざる『日本映画博覧会』
- 『アジア知的財産権シンポジウム2024』  
ビジネスの成長を支える知的財産～各国の事例から教育まで多角的視点からの考察～
- 令和6年能登半島地震の支援について
- 研修サービス『ドラスタ』
- 作品・催事ラインナップ

当社は、2024年2月14日開催の取締役会において、株式の分割、定款の一部変更、株主優待制度の変更を行うことを決議しております。

### 【株式分割の目的】

株式分割により株式1株あたりの投資金額を引き下げ、株式の流動性の向上及び投資家層の拡大を図ることを目的とします。

### 【株式分割の概要】

#### (1) 分割の方法

2024年3月31日（日）（実質的には2024年3月29日（金））を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式1株につき、5株の割合をもって分割いたします。

#### (2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	14,768,909株
今回の分割により増加する株式数	59,075,636株
株式分割後の発行済株式総数	73,844,545株
株式分割後の発行可能株式総数	150,000,000株

#### (3) 日程

基準日公告日	2024年3月6日（水）
基準日	2024年3月31日（日）（実質的には2024年3月29日（金））
効力発生日	2024年4月1日（月）

#### (4) 資本金の額の変更について

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。

**【配当について】**

今回の株式分割は2024年4月1日を効力発生日としておりますので、2024年3月31日を基準日とする2024年3月期の期末配当金は株式分割前の株式数を基準に実施いたします。

なお、2024年3月期の期末配当予想に関しては1株当たり30円00銭に変更ありません。

**【定款の一部変更について】**

株式分割に伴い、発行可能株式総数を3千万株から15千万株に変更しました。

**【株主優待制度の変更について】**

今回の株式分割に伴い、株主優待制度を拡充するため、株主優待制度について以下のとおり、変更いたします。

＜変更前＞ 優待権発行数（半年ごとに発行）基準日 9月末・3月末

基準株数	優待券発行数	基準株数	優待券発行数
100株以上	6枚綴り 1冊	1,300株以上	6枚綴り 8冊
200株以上	〃 2冊	2,000株以上	〃 10冊
400株以上	〃 4冊	4,000株以上	〃 20冊
700株以上	〃 6冊	6,000株以上	〃 30冊

＜変更後＞ 優待権発行数

基準株数	特製QUOカード (1年ごとに発行) 基準日 3月末	優待券発行数 (半年ごとに発行) 基準日 3月末・9月末
100株以上	1000円相当	—
500株以上	1000円相当	6枚綴り 1冊
1,000株以上	1000円相当	〃 2冊

●変更の時期

2024年9月30日（月）時点の株主名簿に記載または記録された株主への株主優待より変更を実施します。

### 【長期保有株主優待制度の新設】

当社株式を長期にわたり保有していただいている株主へのさらなる感謝の意を表すとともに、より多くの株主に当社株式を中長期的に保有していただくことを目指し、長期保有株主向け優待制度を新設いたします。

#### ＜長期保有株主優待制度の内容＞

毎年3月末・9月末現在の当社株主名簿に、同一株主番号で3回以上連続して1单元（100株）以上の保有株式数が記載または記録された株主を対象とし、変更後の株主優待に加え、長期保有株主優待制度として、「撮影所見学ツアーやグッズ等（応募者の中から抽選）」を追加贈呈いたします。

- 基準株数：100株以上
- 長期保有株主優待内容：撮影所見学ツアー等やグッズのプレゼント（応募者の中から抽選）

※初年度対象者

2024年9月30日（月）を基準日とする株主名簿に記録された株主より長期保有株主優待制度を適用します。なお、長期保有株主優待制度における保有期間の判定については、2024年9月30日（月）から過去に遡って行います。

只今、株主を対象に、2024年4月6日(土)・7日(日)限定 **東映太秦映画村特別企画『太秦江戸酒場 夜桜花吹雪』**へ5組10名様を抽選でご招待しています。

お申込み方法は下記URLからご確認ください。

<https://f.msgs.jp/n/form/kup/ZWUbATRH2pfMCRv5GMVR5>

※応募〆切は2024年2月28日（水）

『太秦江戸酒場 夜桜花吹雪』の詳細はこちら

<https://www.toei-eigamura.com/edosakaba/>

また、抽選キャンペーンは東映公式LINEでもご案内しております。

東映公式LINEアカウント  
お友だち登録はこちら



## 『百円の恋』（2014年公開）中国でリメイク版が公開

2014年12月20日に公開され、日本アカデミー賞最優秀主演女優賞など国内外合わせ通算21冠の映画賞を受賞、異例のロングランヒットを記録した『百円の恋』（2014年公開/主演：安藤サクラ/脚本/足立紳/監督：武正晴/製作：東映ビデオ）が、中国でリメイクされ**2月10日（土）の公開から3日間で237億円を超える大ヒット**を記録しました。

この度、中国で製作された『百円の恋』のリメイク作品のタイトルは、『**热辣滚烫**』（英語タイトル：『YOLO』=You only live once.）。当社および東映ビデオが中国サイドよりオファーを受け実現に至りました。

作品開発にはオリジナル作品の脚本：足立紳、監督：武正晴、プロデューサー：佐藤現が監修を行い、中国を代表するコメディエンヌである女優ジャー・リン(JIA Ling)が主演を務め、彼女自身が監督も務めています。

なお、同じくジャー・リンが主演及び監督を務めた前作『こんにちは、私のお母さん（你好，李焕英/Hi, Mom）』（2021年公開）の興行収入は54億1300万元（約900億円）で、中国映画市場における興行収入歴代3位を記録しています。



2月10日（土）に中国国内の劇場で公開され、中国全土での興行収入は12日までに**11億8700万元（約237億円）**、観客動員は**2517万人**となっており、例年消費が活発となる春節期（旧正月/2月10～17日）のナンバーワン作品に躍り出ています！

なお過去に中国でリメイクされた日本映画の最高興収は『ザ・マジックアワー』（興行収入26.27億元：約533.8億円）次いで『鍵泥棒のメソッド』（興行収入7.62億元：約130億円）となりますが、本作は女性ボクサーを演じるジャー・リンの熱演が支持を集め、中国全土で旋風を巻き起こしており、これまでの記録を超える興行収入が期待されます。

## 御意見無用！東映東京撮影所物語

関連展示：知られざる「日本映画博覧会」 2024年2月10日(土)～18日(日)

この度、令和5年度アーカイブ中核拠点形成モデル事業の一環として、国立映画アーカイブが練馬区等の調査を行いました。その成果を実証する展覧会『御意見無用！東映東京撮影所物語／関連展示：知られざる「日本映画博覧会」』が開催中です。

東映東京撮影所が所蔵する、同所で撮影された作品の脚本、ロケハン写真、また撮影所関係資料やそれらの解説パネル等を展示します。新興キネマ東京撮影所時代からの出来事、代表作・人気シリーズの紹介、名監督・澤井信一郎監督の旧蔵資料、映画化されなかった幻の映画企画の脚本等によって、設立から70年を超える同撮影所の歴史が語られています。

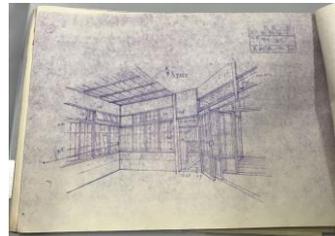
- ◆日程：2024年2月10日(土)～18日(日) 10:00～19:00
- ◆会場：調布市文化会館たづくり2階 北ギャラリー  
(東京都調布市小島町2丁目33-1)
- ◆入場料：無料
- ◆主催：国立映画アーカイブ
- ◆運営：特定非営利活動法人映像産業振興機構(VIPO)
- ◆協力：東映(株)、(株)東映京都スタジオ、  
本地陽彦氏、北九州市立松永文庫、  
木下恵介記念館、ナカバヤシ(株)

### ◆展示資料例

- ・『トラック野郎』シリーズのトラックの荷台の箱絵の原画
- ・『飢餓海峡』に登場するロケセットのスケッチ等の美術資料やロケハン写真
- ・『新幹線大爆破』で国鉄の管制室を再現するためのロケハン写真
- ・澤井信一郎監督の使用脚本 (その他多数の映画資料の展示を予定)

### 東映東京撮影所長 木次谷良助 コメント

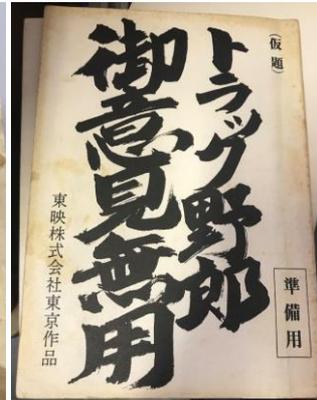
当社のミッションは【愛される「ものがたり」を全世界に】です。昨年2月に中長期ビジョン「東映NEW WAVE 2033」で発表しました。しかしこのように改めて「ミッション」と定義する以前に、1951年の創立以来「ものがたり」で喜びや感動を観客の皆様へ届けることが我々の第一プライオリティであり、ひたむきに製作を続けてきました。そのように製作した作品の資料を、この度国立映画アーカイブ様に調査していただき、さらに皆様にご覧いただける機会が出来たことを大変嬉しく思います。今回取り上げていただく『新幹線大爆破』は当時カナダやフランス、イランでも好評を博し、手に汗握るストーリーは今も世界的に知られています。また『トラック野郎』シリーズは製作から50年経っても皆様から愛される大ヒット作品となりました。この度展示していただく作品はどれも気迫溢れる当時の空気を纏っていると思います。資料からもその匂いを感じ取っていただけたら幸いです。



『飢餓海峡』ロケハン写真



『新幹線大爆破』ロケハン写真



澤井信一郎監督の使用脚本

# アジア知的財産権シンポジウム2024

ビジネスの成長を支える知的財産 ～各国の事例から教育まで多角的視点からの考察～

2024年1月22日（月）会場：日経ホール（東京都千代田区）

日本経済新聞社主催、不正商品対策協議会（ACA）、コンテンツ海外流通促進機構（CODA）共催による「アジア知的財産権シンポジウム 2024 ビジネスの成長を支える知的財産 ～各国の事例から教育まで多角的視点からの考察～」が、1月22日、日経ホールにて開催され、当社役員の白倉伸一郎氏（上席執行役員 キャラクター戦略部担当 ドラマ企画制作部ヘッドプロデューサー）がゲストスピーカーとして登壇いたしました。

本シンポジウムは、1998年より知的財産の保護と不正商品の排除を目的として開催しており、今回で17回目を迎えます。

## 『デジタル化・グローバル社会におけるIPビジネスの最新動向』

前田哲男氏（染井・前田・中川法律事務所 弁護士）、白倉伸一郎氏（東映株式会社 上席執行役員 キャラクター戦略部担当 ドラマ企画制作部ヘッドプロデューサー）、後藤健郎（ACA事務局長、CODA代表理事）によるパネルディスカッション。

本シンポジウムでこれまでに議論された海賊版の被害状況や現行の対策を踏まえ、CODAで実施する国際執行プロジェクト

（CBEP）における最新の取り組みや国際連携の継続的な必要性、グローバル展開におけるIPビジネス現場での実際の取り組みや今後の課題、海賊版対策における知的財産権に係る国内外の著作権法改正の動向など、日本コンテンツの保護と正規版流通をめぐる知財戦略について幅広くディスカッションを行いました。



当日のプログラムの詳細はこちら <https://events.nikkei.co.jp/64147/>

当社は各国各団体と協力し、一企業の資産としてだけでなく日本の知的財産の保護と繁栄のために努力していきます。

## 令和6年能登半島地震の支援について

2024年1月1日、石川県能登地方を中心とした地震により甚大な被害が発生しました。この災害により亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

当社は、被災者支援のため直営映画館およびグループ会社である㈱ティ・ジョイが運営する映画館、㈱東映京都スタジオが運営する東映太秦映画村にて募金箱を設置し、募金活動行っております。

### <募金箱設置>

#### ◆東映㈱直営映画館

丸の内TOEI①②

#### ◆㈱ティ・ジョイ運営の全国19サイト

(共同経営・共同運営含む)

- T・ジョイ東広島
- T・ジョイ新潟万代
- T・ジョイSEIBU大泉
- T・ジョイ梅田
- T・ジョイパークプレイス大分
- T・ジョイリバーウォーク北九州
- 広島バルト11
- 鹿児島ミッテ10
- T・ジョイ久留米
- T・ジョイ蘇我
- 新宿バルト9
- こうのすシネマ
- T・ジョイ長岡
- T・ジョイ出雲
- 横浜ブルク13
- T・ジョイ京都
- T・ジョイ博多
- T・ジョイPRINCE品川
- T・ジョイ横浜

#### ◆東映太秦映画村

### <募金期間>

2024年1月16日(火)より当面の間

### <募金送り先> 日本赤十字社



## 研修サービス「ドラスタ」

### コンセプト

#### 【東映が贈る、観るだけで心に残り意味のある社員研修に】

教育映像事業ではこれまで学校向けの教育動画を中心に映像コンテンツを制作してきましたが、近年公法人における研修動画の需要の高まりを受け、研修映像サービス「ドラスタ (DRAMATIC STADY)」を2023年11月から立上げました。ハラスメント・性的マイノリティ・差別問題・交通安全・防災・消費者教育など多岐にわたるテーマを取り上げています。映画会社だからこそそのハイクオリティで心に残る研修コンテンツです。

サービスURL <https://dramatic-study.toei.co.jp/>



教育映像事業の新たなマーケットを積極的に開拓するとともに、豊かな社会の実現に貢献いたします。

## 【映画】

- 2024年2月9日 『身代わり忠臣蔵』
- 2024年3月20日 『映画おしりたんてい <sup>おしり</sup>さらば愛しき相棒よ』
- 2024年5月24日 『帰ってきたあぶない刑事』
- 2024年 プリキュア映画（仮題）
- 2024年 【推しの子】
- 2024年 『室町無頼』



## 【テレビ】

- 2023年3月5日～ 『王様戦隊キングオージャー』
- 2023年9月3日～ 『仮面ライダーガッチャード』
- 2023年10月18日～ 『相棒Season22』
- 2024年1月18日～ 『大奥』
- 2024年3月3日～ 『爆上戦隊ブンブンジャー』



## 【配信】

- 2024年以降 『仮面ライダーゲイザー』
- 2024年3月3日 『ヨドンナ THE FINAL』
- 2024年5月5日 『仮面ライダー555殺人事件 解決編』



## 【催事】

- ・『キース・ヘリング展 アートをストリートへ』 2024年2月～ 東京ほか（東京は2023年12月開幕）
- ・『民藝 MINGEI 一美は暮らしのなかにある』 2024年2月～ 広島ほか
- ・『北斗の拳 40周年大原画展 ～愛をとりもどせ!!～』 2024年3月～ 愛知ほか
- ・『生誕50周年記念 THE仮面ライダー展』 2024年3月～ 埼玉ほか

## 【ショー・舞台】

- ・『仮面ライダースーパーライブ2024』 2024年2月～ 兵庫ほか
- ・『超英雄祭2024』 2024年2月7日 横浜アリーナ
- ・東映ムビ×ステ 舞台『邪魚隊/ジャッコタイ』 2024年5月～ 東京ほか
- ・『王様戦隊キングオージャー ファイナルライブツアー2024』 2024年3月～ 静岡ほか



## 【商品】

- ・仮面ライダーストアTOKYO/OSAKA



# 本資料について

本資料の内容には将来に対する見通しが含まれていますが、実際の業績は様々な状況変化や要因により、見通しと大きく異なる結果となりえることがあり、保証を与えるものではありませんのでご了承下さい。  
また、本資料の無断転載はお断りいたします。

本資料に関するお問合せ

東映株式会社 経営戦略部広報室

TEL:03-3535-7564 MAIL : keisen\_koho@toei.co.jp

担当：多田（オオタ） 内藤 奥本 加藤

©2024 「身代わり忠臣蔵」製作委員会 ©水木プロ・東映アニメーション ©「2008ゲゲゲの鬼太郎」製作委員会 ©映画「鬼太郎誕生ゲゲゲの謎」製作委員会 ©テレビ朝日・東映AG・東映  
©テレビ朝日・東映 ©石森プロ・テレビ朝日・ADKEM・東映 ©2024 toei-movie-st ©石森プロ・東映 ©BANDAI ©2023 「THE LEGEND & BUTTERFLY」製作委員会  
©石森プロ・東映/2023 「シン・仮面ライダー」製作委員会 ©2023 「忌怪島／きかいじま」製作委員会 ©2023 「Gメン」製作委員会 ©小沢としお(秋田書店)2015  
©I.T.PLANNING,INC. ©2022 THE FIRST SLAM DUNK Film Partners ©尾田栄一郎／2022 「ワンピース」製作委員会 ©I・T・A・T ©全国水平社創立100周年記念映画製作委員会  
©New Classics Media Corporation ©2014東映ビデオ ©トロール・ポプラ社／2024 「映画おしりたんてい」製作委員会 ©2024 「帰ってきたあぶない刑事」製作委員会  
©赤坂アカ×横槍メンゴ／集英社・2024映画【推しの子】製作委員会 ©2025 「室町無頼」製作委員会 ©フジテレビ ©東映 ©東映特撮ファンクラブ  
©2022 石森プロ・テレビ朝日・ADKEM・東映 Photo by ©Makoto Murata Keith Haring Artwork @Keith Haring Foundation  
©武論尊・原哲夫／コアミックス1983 ©石森プロ・テレビ朝日・ADKEM・東映AG・東映